

課 題	新規 別 継続	新規 継続	経常. 特別別 目標との関連	任意 1-ウ	担 当	開 発 箇 所 造林課 長崎署	期 間 昭和 60 年度 — 昭和 70 年度	予 算 科 目 造林(育 林) 費	経	費	品	名	数	量	単	価	金	額	
									物	件	費	苗木 調査用品	200	本	円	千円			
目的	イヌマキの人工更新法								役	務	費	現像. その他							
目的	密伐天然下種更新地において、イヌマキを植栽し天然有用広葉樹導入と組合せ用材林としての育成方法を確立する。								人	件	費	(基 礎) 時	(—)	3			(—)		
									計				3				(—)		
全 体 計 画		実 施 経 過		当 年 度 分															
				実 施 計 画				実 施 結 果				評価および普及計画							
1. イヌマキを植付し天然有用広葉樹と組合せ保育管理をはかる。 2. 林地植付 (1) 昭和61年3月 (2) 面積 0.1ha 3. 調査事項 (1) 生長量の調査 (2) 保育の方法		1. 試験地設定 (1) 場所 万助山国有林67.1ha林小班 (2) 面積 0.1ha (3) 植付本数 イヌマキ 200本		1. 試験地設定				1. 試験地設定 (1) 昭和61年3月12日設定 (2) イヌマキ 200本植付											

(様式4)〜/

課題

イヌマキの人工更新法.

1. 試験地設定

(1) 設定前の林況

天然生アカマツが20%混交する30年生広葉樹天然林で、昭和59年度皆伐した跡地である。

(2) 設定要領

ア. 場所: 万助山国有林くろい、林小班.

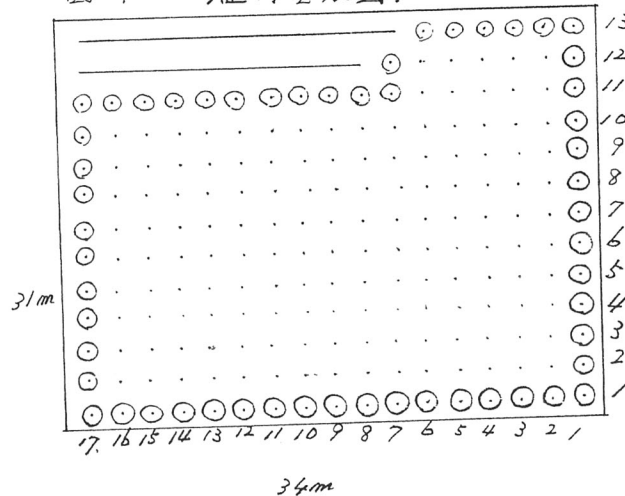
イ. 面積: 0.10 ha

ウ. 設定年月: 昭和61年3月12日

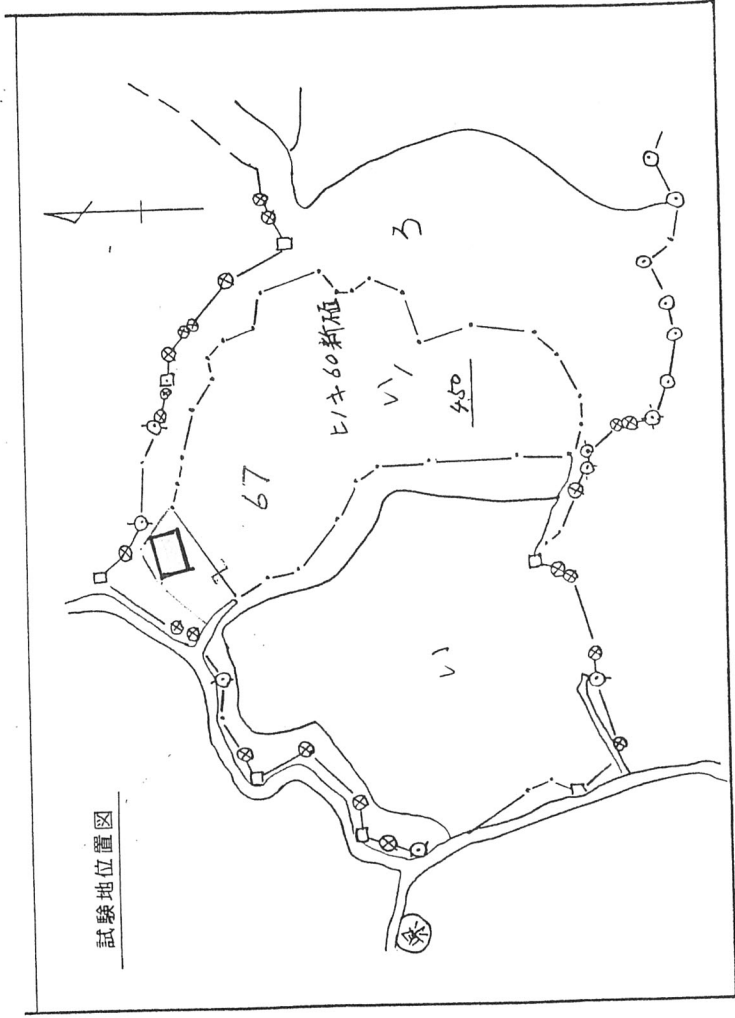
エ. 植付本数: イヌマキ2年生苗木 200本

オ. 植付方法: 一部地帯のうね丁等植.

図-1. 植付具取図.



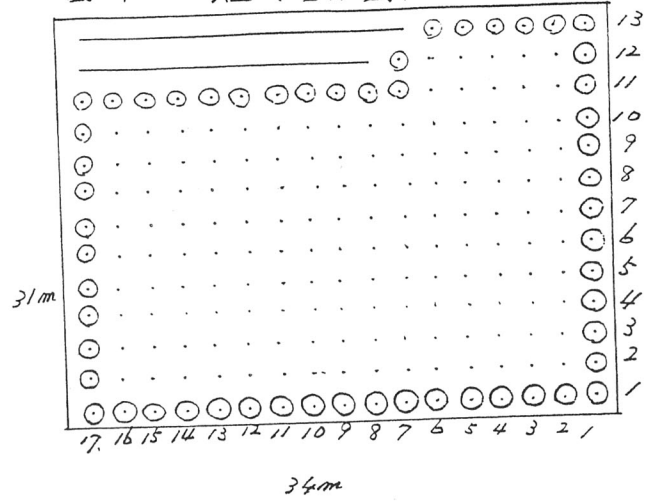
試驗地位位置圖



試驗地位位置圖

試驗地位位置圖

圖一. 植付具取圖.



昭和61年度技術開発実施計画書 報告書

長崎営林署

様式 2

課 題	継続 新規	別 種	経 常 特 別 目 標 と 連 関	注 意 1-ウ	担 当	開 発 箇 所	期 間	自60年度 至70年度	予 算 科 目	造 林 賞 （育 林 開 発 費）	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額
											円				
目 的	皆伐天然下種更新地において、仮マキを植栽し天然有用広葉樹導入と組合せ、用成林としての育成方法を確立する。										物件費				
											役務費				
											人件費		3人		
											計				
全 体 計 画		実 施 経 過		当 年 度 分											
				実 施 計 画				実 施 結 果				評 価 お よ び 普 及 計 画			
1. 仮マキを植付し、天然有用広葉樹と組合せ保育管理をほかる。		1. 試験地設定 （1）場所 万助山国有林の林内		1. 植付時苗長調査				1. 植付時苗長調査 8%							
2. 林地植付 （1）昭和61年3月 （2）面積 0.1ha		（2）面積 0.10 ha		2. 生長量調査 （1）苗長 （2）根直径				1. 生長量調査 13%							
3. 調査事項 （1）生長量の調査 （2）保育の方法		（3）植付本数 仮マキ 200本						3. 結果 （1）枯損は2本で僅少であった。 （2）調査プロット内50本の平均苗長生長量は9.7cmとあった。							

試験経過記録

区分 任意

長崎 営林署

(様式4)~1

課題

イヌマキの人工更新法

1. 目的

皆伐天然下種更新地においてイヌマキを植栽し天然有用広葉樹導入と組合せ用材林としての育成方法を確立する。

(2) 生長量調査：昭和61年12月19日に全本数に→~~て~~ 苗長、根元径を測定した。

林分調査表 (70m²内50本)

植付時 61.5.			61.12. 現在		
区分	根元径	苗長	区分	根元径	苗長
	<small>mm</small>	<small>cm</small>		<small>mm</small>	<small>cm</small>
50本の計	306	2.085	50本の計	321	2.570
平均	6.12	41.70	平均	6.42	51.40
			苗木平均生長量	0.30	9.70

2. 試験地

(1) 設定前の林況

天然主アカマツが20%混交する30年生広葉樹天然林で、昭和59年夏皆伐して跡地である。

(2) 場所：万助山国有林 67ha 林小班。

(3) 面積：0.10 ha

(4) 設定年月：昭和61年3月12日。

(5) 設定数額：イヌマキ2年生苗木200本を一部地存のうえ丁寧植とした。

ア. 苗木の活着は200本中2本の枯損のみだった。

イ. 植付当年の成長量は表のとおりである。また全本数198本の平均値で根元径6.36mm 苗長51.11cmとなり表値に近いものとなっている。

3. 調査結果

(1) 植付時調査：昭和61年5月8日に調査プロットを設定し50本について苗長根元径を測定した。

種別	新規別 継続	継続	経常・特別別	任意	品	開	期	昭和 40 年度	子	技	経	品	数	単	価	金																				
			目標との関連	一ウ													所	問	昭和 70 年度	育	術	費	名	量	価	額										
題	イヌマキの人工更新法			造林課	長崎署						物件費	調査用品			円	千円																				
目的	皆伐天然下種更新地において、イヌマキを植栽し天然有用広葉樹導入と組合せ、用材林としての育成方法を確立する。										役務費	現銀、その他																								
											人件費	(準備時)	()			()																				
											計	—	()			()																				
全体計画		実施経過		当年度分																																
				実施計画			実施結果			評価および普及計画																										
1. イヌマキを植付し天然有用広葉樹と組合せ保育管理をはかる。		1. 試験地設定 (1) 場所 万助山国有林67.1林小班		1. 生長量調査			1. 生長量																													
2. 林地植付 (1) 昭和61年3月 (2) 面積 0.1ha		(2) 面積 0.10 ha		2. 保育(下刈)			2. 保育																													
3. 調査事項 (1) 生長量の調査 (2) 保育の方法		(3) 植付本数 イヌマキ 200本																																		
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>植付時</th> <th>61年度</th> <th>62年度</th> <th>伸長量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>苗長</td> <td>41.70 cm</td> <td>51.40</td> <td>62.12</td> <td>20.42</td> </tr> <tr> <td>根径</td> <td>6.12 mm</td> <td>6.42</td> <td>7.42</td> <td>1.31</td> </tr> <tr> <td>枯損本数</td> <td></td> <td>2</td> <td>3</td> <td>計5本</td> </tr> </tbody> </table>			区分	植付時	61年度	62年度	伸長量	苗長	41.70 cm	51.40	62.12	20.42	根径	6.12 mm	6.42	7.42	1.31	枯損本数		2	3	計5本							
区分	植付時	61年度	62年度	伸長量																																
苗長	41.70 cm	51.40	62.12	20.42																																
根径	6.12 mm	6.42	7.42	1.31																																
枯損本数		2	3	計5本																																
							(1) 坪刈り (2) 萌芽整理 シ、フス、カシを2~3本立ちに整理すると同時に不良樹種は刈払う。																													

試験経過記録

区分 任意

長崎

営林署

(様式4)~1

課題

イヌマキの人工更新法

1. 目的

皆伐天然下種更新地においてイヌマキを植栽し天然有用広葉樹導入と組合せ用材林としての育成方法を確立する。

区分	植付時	61年度	62年度	伸長量
苗長	41.70 ^{cm}	51.40	62.10	20.40
根元径	6.10 ^{mm}	6.40	7.40	1.30
枯損本数計5本		2	0	

2. 試験地

(1) 設定前の林況

天然生アカマツが20%混交する30年生広葉樹天然林で昭和59年度皆伐し跡地である。

(2) 場所：万助山国有林 67い、林小班

(3) 面積：0.10ha

(4) 設定：昭和61年3月12日

(5) 設定要領：イヌマキ2年生苗木200本と一部地帯のう之丁等植とした。

4. 保育

植栽木周囲を刈りとし、有用樹種のシイ、クス、カシの萌芽は2本~3本立ちに整理をおこない、他は切り払った。

3. 調査結果

(1) 生長量：苗長と根元径について全本調査した。